

長崎県気候変動適応センター ニュースレター 第2号

今回のテーマ: 適応策の普及啓発

1. 気候変動の「緩和」と「適応」について

気候変動対策には、気候変動「緩和」と「適応」があり、車の両輪のように両方を推進していく必要があります。今回はこれらの概要と、センターが実施している適応に関する啓発活動について紹介します。



緩和

地球温暖化の原因である温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、フロン等)を削減し、**気候変動を抑制する取組を「緩和策」と**いいます。

適応

緩和が進んでも、2050年頃までは気温上昇による気候変動影響の増大が予測されます。このような**気候変動の影響に対し、回避・軽減を行うことを「適応策」と**いいます。

適応と緩和の詳細はこちらを参照ください

参考: 国立環境研究所 気候変動適応センター: https://adaptation-platform.nies.go.jp/climate_change_adapt/index.html

2. 「適応」を啓発

適応セミナー

日常生活に関わる問題(自然災害・熱中症など)をテーマに、令和4年度から、「気候変動適応セミナー」を開催しています。今後もホームページなどでセミナーの開催情報を発信していきますので、ご確認ください。

(これまでの開催テーマ)

R4: 自然災害と防災 (場所)シーハットおおむら

R5: 若者が取組む適応策の取組 (場所)Web

R6: 高齢者の熱中症発症原因と予防・対策 (場所)Web



R4開催の様子(シーハット大村 さくらホール)

長崎県気候変動適応センター ニュースレター 第2号

教職員向け研修

県教育センターが企画する教職員向け研修講座で、気候変動等の環境問題に関する講義を行い、気候変動の現状と将来予測、授業で使える教育資材の紹介などを行いました。



令和5年10月5日
(県教育センター)



令和6年10月4日
(環境保健研究センター)



環境イベントへの出展・出前講座

環境イベントへの出展や出前講座を通して、気候変動による影響を理解するための実験や、熱中症発生状況と予防方法の紹介などを行い、適応策の理解促進を行っています。



熱中症予防啓発に関する出前講座の様子
令和5年6月8日(島原市森岳公民館)



ひらどエコフェスタの様子
令和6年11月9日(平戸文化センター)

長崎県気候変動適応センターは、気候変動の影響や適応に関する情報拠点として、引き続き情報発信を行ってまいりますので、**ご要望などがありましたら、下記の窓口までご相談ください。**

長崎県気候変動適応センター(事務局:長崎県環境保健研究センター)

電話:0957-48-7560

HP:<https://www.pref.nagasaki.jp/section/kankyō-c/index.html>

